

事務事業チェックシート

事務事業No 693 事業名 第一特別展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	博物館法・和歌山市立博物館条例	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	額田 雅裕 (423-0003)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
事項	第一特別展開催事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	和歌山に関して全国的に有名なテーマを設定し、貴重な博物館資料で展覧会を構成することによって、市民文化の向上に寄与する。	会期を展覧会シーズンである秋(10月～11月)に、公開日数を30日程度に設定し、展示資料を全国から借用して、展覧会を構成する。なお、和歌山市立博物館条例第4条に基づき、特別展開期中は入館料を改定する。				
実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	江戸時代の和歌山が、各観光地及び金比羅参詣等の主要経路として位置づけられていたことを検証するため、特別展「江戸時代を観光しよう」を開催する。	表千家歴代と紀州徳川家の交流を語るとともに、特に深い関わりをもった10代藩主徳川治宝の時代や数々の茶道具を生み出した紀州の御庭焼きにスポットを当てた展覧会を開催する。	江戸時代の城下町和歌山で活躍した絵師たちの作品と関係資料を展示し活動の一端を紹介する。	大政奉還から150年を迎えるのを記念して、激動の幕末に活躍した紀州藩出身の徳川家茂や陸奥宗光、新選組隊士矢田賢之助などに関する資料を展示し、その活躍の一端を紹介する。	和歌山に関して全国的に有名なテーマを設定し、貴重な博物館資料で展覧会を構成する。	

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	4,694	4,638	4,955	4,201	4,558	4,195	4,180			
伸び率 (%)	-	-	5.6%	▲9.4%	▲8.0%	▲0.1%	▲8.3%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	7,294	5,993	5,993	5,157	5,157	5,394	5,394		
	正規職員以外	472	1,665	1,665	609	609	566	566		
	小計	7,766	7,658	7,658	5,766	5,766	5,960	7,658		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	804	370	1,156	1,023	906	850	850			
一般財源 (税等)	3,890	4,268	3,799	3,178	3,652	3,330	3,330			
所要人数 (人)	正規職員	0.98	0.79	0.79	0.69	0.69	0.71	0.71		
	正規職員以外	0.24	0.47	0.47	0.33	0.33	0.29	0.29		
主な予算内訳	展示資料の美術梱包委託料2,229千円・展示図録等の印刷製本費1,508千円等									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	第一特別展開館日数	日	33	32	32	32	
			32	30	27		
			97.0%	93.7%	84.3%		
成果指標	第一特別展入館者数	人	2,200	2,200	2,200	2,200	
			1,509	2,787	2,398		
			68.6%	126.6%	109.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	博物館のメイン事業あり、開館以来継続してきた事業である。事業評価については、過去の実績から鑑みてほぼ変わらないが、当事業は、博物館として最も重要なイベントとして位置付けており、今後も少なくとも現状維持、あるいはそれ以上の成果を目指して取り組んでゆくべきである。
見直し・改善内容	特別展を担当する学芸員が不足している。人事異動により学芸員2名減となり、その補充もないため平成30年度からの特別展計画が立てられない状況である。早期に学芸員を増員すべきである。アンケート調査により、さらに市民のニーズをとらえ、展覧会テーマの設定に反映させる。